

令和 7 年度東京都立多摩科学技術高等学校 学校経営報告

東京都立多摩科学技術高等学校
校長 前田 平作

1 令和 7 年度学校経営計画の実施結果（概要）

「先端科学技術のみならず広く自然科学への知的好奇心・探究心・学ぶ意欲に富む生徒」「将来の科学技術分野を担うスペシャリストを目指す、志あふれる生徒」「地球環境問題、技術者の倫理観など現代社会における科学技術と人間とのかかわりを学ぶ中で、幅広い教養と豊かな人間性を有する生徒」の育成するために、次の 3 点を重点目標として学校経営を行い、研究活動推進および理系進学校としての体制基盤確立を図った。

- (1) 希望する理系大学進学を実現させる教育内容と指導の充実
- (2) 科学技術への関心と基礎力を育成するための教育内容の充実
- (3) 心豊かで責任感と主体性に富む生徒を育成するための指導内容の充実

今年度も課題研究・卒業研究をとおして、外部団体の研究発表会に数多くの生徒が参加することにより、研究内容を深めさせることやプレゼンテーション能力の向上が図れた。また、文部科学省指定スーパーサイエンスハイスクール（以下、SSH）第Ⅲ期の 4 年目で学校設定教科・科目「分野等融合探究」の実施や東京都教育委員会指定の進学指導推進校の取組である校内予備校の実施に取り組むなど、これらの事業を活用して教育活動の充実を図ってきた。

第 1 4 期生の国公立大学・大学校合格は 6 5 名以上の目標で取り組み、結果は東北大学や旧帝大を含め 4 1 名、既卒者 6 名の合格者を含めると 4 7 名が国公立大学に合格した。次年度は、本校の学習指導と科学技術の体験を通して成長させる強みを活かした教育をさらに充実させる必要があると考える。

2 取組の評価と次年度に向けて

本年度の活動目標と主要方策別に振り返りを行うとともに、次年度取り組むべき課題を整理した。

(1) 学習指導・進路指導の充実

① 進学実績に関する取組

- ・国公立大学合格者 41 名、早慶上理合格者 19 名 目標【概ね達成】
- ・国公立大学受験型で共通テストを受験する生徒の割合 67.8% 目標【達成】
- ・国公立大学受験型の得点率 75%以上の生徒の割合 10.0% 目標【達成】
- ・放課後及び長期休業日における補講・講習を実施するとともに、サポートティーチャー、校内予備校を効果的に活用する。
- ・総合型及び学校推薦型の選抜に対応する選考会議の工夫及び指導体制の構築に取り組む。
- ・出願指導に向けた事前の個別検討会を実施する。
- ・共通テスト「情報Ⅰ」に向けた指導体制を構築する。

② 学力向上に関する取組

- ・第 1 学年において C E F R : A 2 以上の生徒の割合 25.4% 目標【概ね達成】
- ・第 2 学年において C E F R : B 1 以上の生徒の割合 22.6% 目標【概ね達成】
- ・学習指導の満足度に対する肯定的な回答の割合 84.2% 目標【達成】
- ・生徒による授業評価を実施・分析、大学入試問題（5 大学以上）の分析及び教員相互の授業研究等することにより、主体的、対話的で深い学びとなる授業改善を行う体制を構築する。
- ・授業改善（教員）学習方法の改善（生徒）ができる観点別学習状況の評価となるようにするために、校内研修会を実施して教員の観点別学習状況の評価に関する理解を深める。
- ・大学や企業と連携した講演会の実施や科学技術アドバイザー制度等を効果的に活用する。
- ・「分野等融合探究」「科学技術と人間」「概論」等の学校設定科目のカリキュラム開発及び実践を行う。
- ・各教科の授業において、プレゼンテーションの場面や論文を作成する場面を設定する。
- ・JET、オンライン英会話等を活用したスピーキング及びリスニング能力の向上を図る指導方法研究開発し、実践する。

・ライティング能力の向上を図るための指導方法の研究開発を行う。

③ 進路決定に関する取組

- ・進路指導の満足度に対する肯定的な回答の割合 82.1% 目標【達成】
- ・大学入試動向に関する研修会・講演会を実施する。
- ・研究室訪問の実施、オープンキャンパス等への参加の促進等とおして、進路決定に向けた意識付けを行う。
- ・進路講演会や成功事例紹介等を活用する。
- ・進路希望調査、面談等を定期的実施し、第1志望大学宣言を行う。

(3) 生活指導・保健活動、特別活動、部活動等の充実

① 相互に尊重し合う心の醸成、自己肯定感・帰属意識の育成に関する取組

- ・学校行事を通して、多様な体験ができて回答した生徒の割合 87.3% 目標【未達成】
- ・生徒一人一人の特性を捉えて、全生徒が活躍できる場面の設定を考えたホームルーム活動の指導方法に関する研修会を実施する。
- ・自主的で計画的なホームルーム活動、学校行事や部活動が展開できる指導体制を構築する。

② 社会貢献意識の向上、社会人としての責任感・使命感の育成に関する取組

取組目標	実現状況	結果
ボランティア精神を育む学校行事が展開されていると実感している生徒の割合 75%	—	×
主権者教育、消費者教育が計画的に実施されていると実感している生徒の割合 75%	—	×

- ・科学リテラシー振興拠点として「科学の祭典 in 小金井」への参加、小・中学校と連携する校内体制を構築する。
- ・教科等と連携して、組織的・計画的に主権者教育、消費者教育等の講演会等を実施する。
- ・ボランティア活動や地域活動を推進する。

③ 生命及び人権尊重の精神を醸成する取組

取組目標	実現状況	結果
交通安全に関して意識するようになったと実感する生徒の割合 90%	74%	×
学校が安心できる居場所であると実感する生徒の割合 75%以上	78%	○
相談しやすい環境であると実感している生徒の割合 75%以上	67%	×

- ・自転車乗車に関する法令やマナーに関する講演会を実施するとともに、ヘルメット着用の指導を徹底する。
- ・生徒のSOSをキャッチしやすい教育環境を確立する。
- ・スクールカウンセラーと担任の連携が行いやすい環境を整備する。
- ・いじめの未然防止及び早期発見の教員体制を構築する。

(4) 開かれた学校づくり・健全な学校運営

① 広報活動に関する取組

取組目標	実現状況	結果
学校見学会及び説明会において、教育方針や教育内容等が理解できたと回答する中学生（保護者）の割合が85%以上	98%	○
推薦入試の倍率 2.0 倍以上、一次学力検査の倍率 1.75 倍以上	推薦倍率 1.14 一次倍率 1.42	×

- ・体験入学、体験入部、学校説明会（見学会）、授業公開等について、中学生とその保護者へ魅力が伝わるように運営を工夫する。
- ・学校行事（体育祭、文化祭、研究発表会等）を保護者、中学生、中学校の教員や地域等へ公開する。
- ・生徒、教員による中学校訪問を実施、及び中学校教員対象説明会、塾対象説明会へ参加する。
- ・ホームページ等 SNS 更新を促進する。

② 服務事故未然防止に関する取組

取組目標	実現状況	結果
服務事故0件	—	×

- ・服務事故防止に関する研修会及び自己チェックの実施回数3回以上実施する。
- ・机上の整理、整頓、保有個人情報管理基準に基づいた個人情報の管理を徹底する。

③ 働き方改革推進に向けた業務の効率化に関する取組

取組目標	実現状況	結果
・定時外在校時間 80 時間以上の教職員数0人	延べ110人	×
・効果的・効率的な予算執行（一般需用費のセンター契約集約率）60%以上	40.0%	○

- ・業務の継承とOJTを目的とした分掌内分担を実施する。
- ・効率的な業務遂行を工夫（ムダをなくす、整理整頓）する。
- ・業務のデジタル化を推進する。